

★通常事業評価シート【R7年度実施事業／市民健康部人権・男女共同参画課による自己評価】

(単位：千円)

No.	事業名	総合計画での位置付け (個別目標)	事業の目的 (誰・何をどのようにするか)	事業の手段 (今年度の主な活動結果)	事業の目的達成に 近づいたか	今後の 方向性	事業費 (決算見込額)	人件費 (参考値)	コスト 合計	事業の課題	今後の改善ポイント	備考
1	人権啓発事業	平和で、多様な価値観が尊重され、他者への理解が促進し、自分らしく生活できる環境が整っている	市民一人ひとりがあらゆる差別や偏見をなくし人権を尊重する意識の高揚を図るため、各種の人権啓発活動を行う。	・市民団体との協働により、講演や研修会による人権啓発活動を実施した。	3：おおむね近づいた	継続	2,677	8,447	11,124	啓発事業への参加率が低い。	啓発事業への参加を促すため、内容や開催形態、申込・周知方法の改善を検討する。	
2	人権活動団体支援事業	平和で、多様な価値観が尊重され、他者への理解が促進し、自分らしく生活できる環境が整っている	市民の人権を守るため、人権活動団体の活動を支援する。	・人権啓発推進団体の事業実施にあたり、その活動を助成するため助成金を交付した。	3：おおむね近づいた	継続	1,123	3,703	4,826	引き続き、助成するための予算措置を行う。	特になし	
3	人権相談事業	平和で、多様な価値観が尊重され、他者への理解が促進し、自分らしく生活できる環境が整っている	あらゆる社会生活の場面で等しく人間として尊重され、誰もが幸せに暮らせる社会づくりを推進するため、人権に関する相談に応じ必要な助力・助言を行う。	・相談支援を実施。必要に応じ関係機関の紹介を行い、相談者の抱える不安の解消や問題解決につなげることができた。	3：おおむね近づいた	継続	-	1,505	1,505	より多くの方に相談支援を利用してもらうため、周知していく。	周知方法の改善を検討する。	
4	障害者差別解消事業	平和で、多様な価値観が尊重され、他者への理解が促進し、自分らしく生活できる環境が整っている	相互に人格と個性を尊重し合う共生社会を実現するため、障害を理由とする差別を解消する措置及び支援を行う。	・「障害者差別を考えるセミナー」を障害者支援課との共催で実施。市民が障害者の人権について認識を深める機会となった。 ・相談支援を障害者支援課との2課で実施。連携・情報共有を密にし、相談者の抱える不安の解消や問題解決につなげることができた。	3：おおむね近づいた	継続	-	1,505	1,505	啓発事業への参加率が低い。	啓発事業への参加を促すため、内容や開催形態、申込・周知方法の改善を検討する。	
5	男女共同参画推進団体支援事業	平和で、多様な価値観が尊重され、他者への理解が促進し、自分らしく生活できる環境が整っている	市民による男女共同参画社会の実現及び推進に寄与するため、男女共同参画推進団体への活動支援を行う。	・男女共同参画推進団体の活動を支援するため補助金を交付した。	3：おおむね近づいた	継続	176	1,100	1,276	特になし	特になし	
6	男女共同参画事業	平和で、多様な価値観が尊重され、他者への理解が促進し、自分らしく生活できる環境が整っている	性別にかかわらず互いの人権を尊重し、個性と能力を発揮して多様な生き方を選択できる社会を実現するため、男女共同参画を推進する。	・各種講座を実施した。 ・男女共同参画フォーラムを開催した。	3：おおむね近づいた	継続	5,172	17,571	22,743	講座参加者の固定化 参加者数が伸び悩んでいる	・より多くの人に参加してもらえよう、魅力的な講座の開催等に取り組み ・日頃センターの利用が少ない層へ向けた取組を強化する	
7	男女共同参画センター管理事業	平和で、多様な価値観が尊重され、他者への理解が促進し、自分らしく生活できる環境が整っている	男女共同参画センターの施設機能を保持するため、施設を適切に管理する。	・男女共同参画センターの維持管理。 ・男女共同参画センター使用料の徴収。	3：おおむね近づいた	継続	10,348	11,863	22,211	利用者の固定化・高齢化	・男女共同参画センターの認知度向上と利用者の拡大をめざす ・相談機能の充実を図る	
8	DV等対策事業	平和で、多様な価値観が尊重され、他者への理解が促進し、自分らしく生活できる環境が整っている	安心して生活できる環境を作るため、DV被害者等支援とDV防止に向けた啓発を行う。	・DV等相談を実施し被害者の安全確保と自立支援を行った。 ・女性への暴力防止のためのパネル展を実施した。 ・市内8中学校でデートDV予防啓発講座を実施した。	3：おおむね近づいた	継続	372	8,675	9,047	DV等被害者が相談しやすい環境や支援体制の整備	・相談窓口の周知方法を工夫する ・DV等被害者の支援のため、関係各課との連携を図る	
9												
10												
11												